

かみしらの

議会だより

第 97 号

2018 年 2 月 10 日発行

発行 上富良野町議会

Contents

- 2 P 第4回定例会 「泥流地帯」映画化ほか
- 5 P 決算特別委員会 平成 28 年度決算を認定！
- 6 P 一般質問 5 名の議員が町政を問う。
- 12 P 追跡 あの質問「どうなったの？」
- 14 P ☆ぴが☆つと輝くまちのひと

少林寺拳法上富良野道院 稽古初め

三浦綾子文学 『泥流地帯』 映画化プロジェクト 始動

第4回定例会を12月12日から13日までの2日間開催し、各会計補正予算、条例、人事案件などを審議しました。

また、5人の議員がJR富良野線維持存続やジオパーク、保育料などについて的一般質問を行い、町長、教育長の考えを問いました。

初年度事業費、補正予算にて可決

大正15年の十勝岳噴火の被災から復興した状況を題材とした、発行部数100万部超の『泥流地帯』（昭和51年）・『続・泥流地帯』（昭和53年）は、旭川市出身の三浦綾子さんの小説で、北海道新聞の日曜版で連載され、ほぼ全編が上富良野町内が舞台となっています。

この小説を取り上げ、地域活性化事業として申請、平成29年11月7日付で内閣府第45回地方再生計画に認定となりました。これにより、「企業版ふるさと納

税」の寄附金活用が可能となり、ふるさと納税をした企業は、税負担の軽減効果が2倍になるほか、社会貢献に伴うイメージアップにつながります。事業予定期間は、平成29年11月から平成32年3月31日までで、総事業費（ロケ支援予定費用）は8千800万円です。

初年度の事業費内訳は、映画化の決定（条件整備）に係る費用として、プロジェクト推進及び体制の運営に15万円、公共的施設へ文庫本の配本に33万円、読書感想文コンテストに12万円、講演会開催に10万円の合計70万円となっています。

質 疑

問 「泥流地帯」の映画化に関して、総事業費の8千800万円を全て企業版ふるさと納税でまかなうのか。一般財源の持ち出しもあり得るのではないか。

また、将来的に観光に結びつけるためにロケセットなどを残すとしているが、相当な費用負担がかかることに疑問を感じる。

答 企業版ふるさと納税を充てることができるため、企業にPRして財源確保に努めたいと考えていますが、他の財源や一般財源を充てることもあり得ると考えています。

ロケセットなどの維持費は、観光スポットとして成り立つように仕掛けをしていき、そのコストに見合う誘客へと結び付けていきたい。



『泥流地帯』、『続・泥流地帯』映画化プロジェクトのパフレット

■ 12月補正予算の状況 ■

会計名		補正額	総予算額
一般会計		3209万9千円	66億503万3千円
特別会計	国民健康保険	95万3千円	15億8627万8千円
	後期高齢者医療	△124万5千円	1億3588万5千円
	介護保険	△381万3千円	9億4045万7千円
	ラベンダーハイツ事業	1万5千円	3億7万9千円
	簡易水道事業	△32万5千円	6447万2千円
	公共下水道事業	△2253万2千円	4億1131万6千円
企業会計	水道事業	収益的支出	※0円
		資本的支出	—
	病院事業	収益的支出	—
		資本的支出	1780万5千円

※水道事業会計の収益的支出は予算の組み替えのため、補正額は0円です。

一般会計の補正予算を可決

国・道の交付税・負担金・補助金等の確定、また寄附金の増額に伴う増額補正、地方再生計画認定に伴う「泥流地帯」映画化推進初年度負担金、観光諸行事負担金（北の大文字イベント実施）や防災情報機器、救助活動用機材等備品購入費、ひとり親家庭等医療給付費、教育・保育給付費に係る費用など3千209万9千円を増額補正し、総額66億503万3千円とする補正予算を可決しました。

補正予算

各特別会計及び企業会計

補正予算を可決

各特別会計の交付金及び事業費等確定、寄附金により、国民健康保険特別会計、ラベンダーハイツ事業特別会計、病院事業会計は増額し、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計は負担金等の確定、精査に伴い減額する補正予算を可決しました。

条例

国民健康保険条例の一部を改正

平成30年4月1日から始まる新たな国民健康保険制度において、道と市町村が一体となり事務の広域化や効率化を市町村が推進できるよう、国保の運営に関する統一的な方針が示されました。

平成30年改正後の国民健康保険法の規定に基づき、葬祭費の支給額について全道で3万円に統一されることから条例の改正が提案され、原案のとおり可決しました。施行は平成30年4月1日からです。

改正内容

役職		改正後	増額
特別職	町長	75万円	3万円
	副町長	61万2千円	1万2千円
	教育長	57万6千円	2万1千円
議会議員	議長	27万5千円	0円
	副議長	20万9千円	4千円
	常任委員長	18万9千円	4千円
	議会運営委員長	18万9千円	4千円
議員	議員	17万9千円	9千円
	期末手当	年間4.00月	年間0.50月

特別職の職員の給与及び議会議員の報酬の見直しに関し、5月15日付で特別職報酬等審議会に諮問し、6月16日に答申のあった内容に基づき、それぞれの職に応じて月額給与、月額報酬及び期末手当を引き上げる条例の改正が提案され、審議の結果、賛成多数で原案のとおり可決しました。施行は平成30年4月1日からです。

特別職の職員の給与に関する

条例の一部を改正

上富良野町多世代交流センター

条例の一部を改正

東中会館の改修整備の終了に伴い、東中地区にある東中多世代交流センターを廃止し、普通財産として管理する条例が提案され、原案のとおり可決しました。この条例は公布の日から施行されます。

人事

第5回臨時会（10月27日開催）において、副町長に石田昭彦さんを選任する議案が提出され、全員賛成で同意しました。

任期は平成29年11月1日からです。



石田 昭彦さん（新）
本町 4 丁目

第4回定例会において、人権擁護委員候補者に座間雪子さんを推薦する議案が提出され、全員賛成で適任と答申しました。



座間 雪子さん（新）
新町 3 丁目

指定管理

見晴台公園の指定管理者の指定

見晴台公園は観光客等の町外利用者が、旅行等の目的を完結する機能配置を避けるため、常設売店の設置など収益性の高い事業の実施を公園運営のあり方として制限しています。

これを効果的かつ効率的に達成することができ、観光など地域情報の収集や提供に精通していること、公共団体として運営実績があり、これまで11年間指定管理者として見晴台公園の運営管理を適正に行ったことなどを総合的に判断し、指定管理者として、一般社団法人かみふらの十勝岳観光協会を指定する議案を、原案のとおり可決しました。



見晴台公園の情報ステーション

第5回臨時会（10月27日開催）

平成29年度一般会計補正予算を可決

第48回衆議院議員総選挙執行に伴う執行経費の確定に伴い、既決予算総額65億6千693万4千円に、歳入歳出それぞれ600万円を追加し、総額を65億7千293万4千円とする補正予算の専決処分を承認しました。

また、消費者の町内での購買意欲の喚起、消費購買力の町外流出の食い止めなどによる売上上昇を図り、地域経済の活性化につなげていくため、プレミアム付商品券発行事業補助費1千400万円と、第23回日本管楽合奏コンテスト出場に係る事業費176万6千円を増額し、予備費でその額を減額する既決予算総額65億7千293万4千円の一般会計補正予算を可決しました。

富良野広域連合議会第2回定例会

平成29年富良野広域連合議会第2回定例会が、10月16日に開催されました。

補正予算案1件、人事案1件、条例案2件、認定1件（平成28年度一般会計決算認定）、報告4件が、原案通り可決・認定されました。任期満了に伴う教育委員会委員には、森田智恵子氏（占冠村教育委員会委員）が再任されました。

平成28年度決算を認定!



平成 29 年 10 月 4 日・5 日・6 日の 3 日間、議長と議会選出の監査委員を除く 12 名で決算特別委員会（村上和子委員長）を開会し、平成 28 年度の一般会計、国民健康保険特別会計ほか 5 件の特別会計、病院・水道の企業会計の決算を審議しました。

分科会に分かれて全会計の歳入・歳出伝票の検査、歳入・歳出に関する質疑などを行い、町長に一般会計 8 項目、特別会計 1 項目、企業会計 1 項目の意見を付し、第 4 回定例会で認定しました。

10 項目の審査意見を付しました

一般会計（8 項目）

定住・移住

人口減少抑制のためホームページを充実し、お試し暮らし住宅等の改善を図り、更に積極的な取り組みを。

公共施設の光熱費

削減のため、LED 化等の積極的なエコ対策を。

廃校後の校舎

有効活用と、適切な管理を。

予約型乗合タクシー

高齢者など交通弱者の利便性を図るため、更なる内容の充実を。

公共スポーツ施設の利用

利用者の減少が見受けられる。住民の健康増進を図るため、利用者増に向けた積極的な取り組みを。

観光客誘致

交流人口増加のため、地域特産品の開発等による努力を。

がん検診

受診率向上のため、更なる対策を。

各種補助事業等の作業従事者

保険加入に努められたい。

ラベンダーハイツ特別会計（1 項目）

選ばれる施設となるようサービスの質の向上と、施設整備を計画的に進められたい。

病院事業会計（1 項目）

町全体の医療及び福祉の将来像について、施設含め早急な対応を。

● 議会懇談会のご案内 ●

議会の活動や行政の動きを広く知ってもらい、町民の皆さまから意見をいただくため、議会懇談会を次の日程で開催します。

テーマ

「町の将来を語ろう」

開催日 2 月 14 日（水）

13 時 30 分 ～ 東中会館

江花会館

18 時 30 分 ～ かみん

常任委員会の活動報告の後、テーマを元に議員と参加町民の方々との懇談を行います。



昨年度の議会懇談会の様子

どの会場でも同一内容で実施します。どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

たくさんのご来場をお待ちしています。

一般質問

5名の議員が町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が住民の声や自身の考えなどをもとに、町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。

詳細は後日、行政ホームページに掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができます。ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
7	高松 克年 議員	① 単独維持困難路線と言われるＪＲ富良野線のわが町における今後のあり方について ② わが町の社会福祉推進の要である民生委員・児童委員のあり方等について
8	村上 和子 議員	① 元気高齢者づくりとボランティア活動に参加しやすい仕組みづくりを ② 日本ジオパーク新規認定に向けての今後の取り組みは
9	中瀬 実 議員	① 町道の維持管理について ② ゴミ処理場等の水質検査について ③ ＴＰＰ対策について町の基本的考えは
10	米沢 義英 議員	① 保育料の負担軽減について ② 社会教育総合センタートイレの改修について ③ 十勝岳ジオパーク認定の取り組みについて ④ 予約型乗合タクシーについて ⑤ 障がい者の就労支援事業について ⑥ スクールバスの運行について
11	荒生 博一 議員	① 十勝岳ジオパーク構想について ② 人口減対策の具体的取り組みとその成果について



交通

— 高松 克年 議員 —

J R 富良野線は今後どのように

J R 富良野線連絡会議主体で協議を続ける

(町長)



重要な足である J R 富良野線

高松議員 J R 富良野線連絡会議の協議内容

と町の対応について。

向山町長 住民と観光

客の鉄道利用促進を中心に利用者に実態調査、誘客イベントを実施。

町は広報誌により利用促進を促し、北海道、

北海道町村会、上川地方

総合開発期成会と沿線

自治体と共に、協力連携

をつづけていく。

高松議員 J R 富良野線が内外の旅行者の入

り込みに果たしている役割、評価について。

向山町長 内外の旅行者には、鉄道網の移動手段は重要と認識している。

4 割の観光旅行者の鉄道利用、その数の持つ必要性は変わらない。

高松議員 高齢化社会の中で、J R への期待と

役割があると思うが、路線確保、維持について。

向山町長 鉄路の重要性を認め、沿線自治体と共に取り組みを進める。

福祉

福祉社会の中軸の民生委員をどう考えるか

地域福祉の担い手としての

重要性を認める(町長)

高松議員 高齢化社会の中で、福祉の推進に貢献する民生児童委員の意義について。

向山町長 少子高齢化に伴い、核家族や高齢者世帯、生活弱者が増加している。

その中で、高齢者実態調査、介護相談、生活支援、子ども達への声かけ等、福祉活動も多岐にわたり、行政や関係機関とのパイプ役も担っている極めて大切な役割と理解している。

高松議員 選任方法に課題はないか。

向山町長 改選時に退任者のいる地区の住民会で推薦をいただき選任しており、課題はない。

高松議員 地域で推薦する際、簡単に選出して

いる訳ではない。担当者が同行すべきでは。

向山町長 お声を掛けていただければ、同行させたい。

高松議員 少子高齢化や子どもの相対的貧困等、多様な問題があるが、委員の人数は十分か。

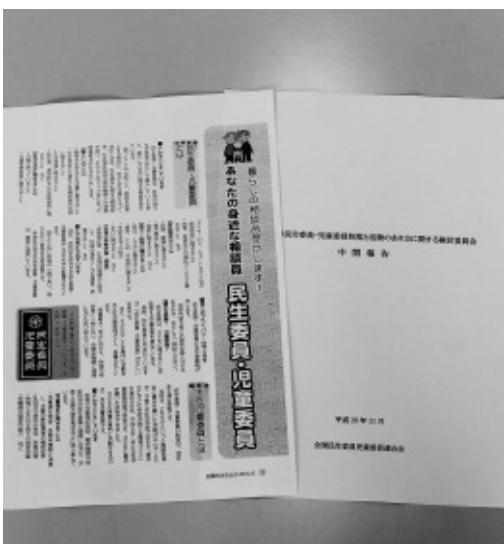
向山町長 国の基準で町村は、70 世帯から 20 0 世帯に 1 人であり、定

数を 34 名としている。

民生委員協議会で検討され、現在に至っているが、地区別の見直しが検討されている。

高松議員 職務が多様で複雑化し、活動の増加が見込まれるが活動費は十分と思うか。

向山町長 管内の平均水準にあり、活動に支障がないよう検証したい。

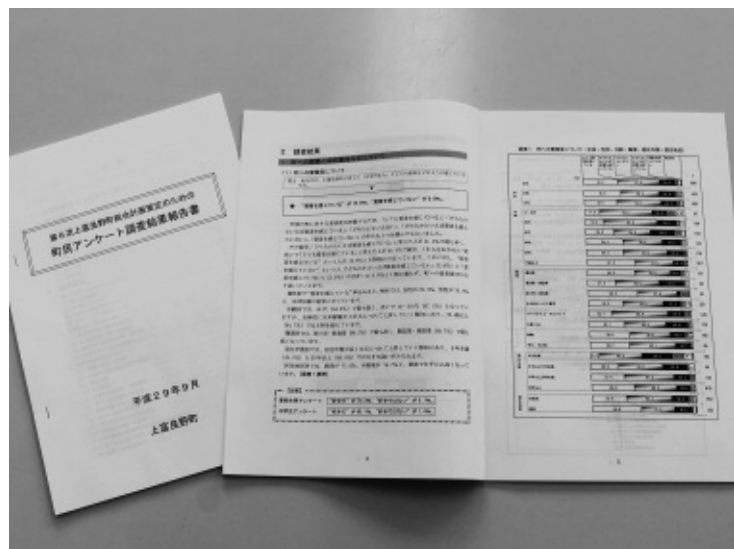


民生委員の働きを伝える町広報と資料

—村上 和子 議員—

福
祉

元気高齢者のボランティア参加への仕組みを 社会福祉協議会ボランティアセンターの 強化を図る（町長）



第6次総合計画のための町民アンケート内の高齢者の数値

村上議員 第6次総合計画策定のためのアンケートによると、70歳以上の方の町の愛着度は84・7%、健康推進の取り組みをしている方は81・3%と高いが、ボランティア活動している方は37・5%と低い。北海道では退職者がシニアバンクに登録し、ボランティアスタッフとして活躍している。

これを市町村に置き換えて本町に導入してはどうか。
向山町長 大変有意義な制度と理解するが、当町においてはシニアバンクの設置は難しい。社会福祉協議会ボランティアセンターの機能アップに行政も積極的に関わり、充実を図ってまいりたい。

ジ
オ

十勝岳ジオパーク認定に向けての

今後の取り組みは

再申請は再来年、両町で引き続き

認定に向けて取り組む（町長）

村上議員

残念ながら認定見送りとなったが、担当課もあらゆる方法で取り組み、町民も理解を深めてきた。

指摘の項目は、事務局が美瑛町と上富良野町に分かれ、持続可能な体制になっていないというところであるが、美瑛町とモチベーションを保ちながら、認定にこぎつけるのか、今後の取り組みについて伺う。

向山町長

指摘事項を受け止め、引き続き美瑛町と共に、極力早期の認定となるよう、取り組みの充実を図る。

村上議員

一体的な推進の強化として、共通の専門員の設置や予算の増額、早期認定といふ頃であるのか。

向山町長

ジオパークネット委員会と共に取り組む専門員の配置をしていきたい。

当然予算が伴うが、来々年早々の再申請は、ハードルが高い。全国43か所で認定され、自治体を

またがったジオパークが構成されているところもある。実例を参考にし、再来年に再申請できるように、美瑛町と引き続き認定に向けて取り組んでいく。



十勝岳ジオパーク認定に向けての取り組み状況



道路

— 中瀬 実 議員 —

デリネーターの取扱いについて

可能な予算の範囲内で維持していく（町長）



破損状態のデリネーター

中瀬議員 デリネー

ターは通行上、重要な役割を果たしているため、当然町の管理、責任のもと、適切に維持、管理するのが基本である。

今後において、予算の面もあり一遍にそれらを解決するのは難しいと思うが、どのくらいの年度をめどに補修、改修していくのか伺う。

向山町長 少しずつでも補修、改修して本来の形に復旧していく。

直す一方で、破損して

いくところが出てくるため、このことは残念ながらエンドレスだと思っている。

エンドレスなものであろうと、そういう中で一定程度の予算、箇所数を重要度、そのようなことを総合的に勘案して、必要な部分を可能な予算の範囲内で維持していくことが基本であるという理解している。

農 業

TPPの大筋合意による町の対策は

関係機関と連携して適切に対応を図る

（町長）

中瀬議員

米国抜きの11か国によるTPPの大筋合意がなされた。このことで、食糧基地北海道の各町村現場に不安が広がっている。わが町でも影響は多大であると思われる。

これらの影響を最小限にし、農家の不安を解消するために、町としてできる対策を想定しているか。

向山町長

平成29年11月、米国抜きで大筋合意がされたが、このことにより、協定内容の見直しや加えて日欧EPAのこともあり、いまだ具体的な協定の中身も不透明であり、TPP協定そのものが、本町の農畜産物へも大きな影響を与えることが懸念される。



TPP大筋合意で広がる不安

このことから、町としては、国や北海道の動向を注視するとともに、第7次農業振興計画の確実な実現を図るため、農業・農村振興実践プランを策定し、これに基づき

各事業を実施していく。また、地域農業に対する影響が見込まれる場合においては、情報収集に努め、関係機関と連携しながら適切に対応を図っていく。



米沢議員 6月の議会

—米沢 義英 議員—

3歳未満児の保育料の無償化を 保育料の負担軽減を検討したい（町長）

子育て

2 教育・保育施設の利用者負担額（保育料）改正内容

平成30年度教育・保育施設利用料（保育料）

※道の保育料軽減支援事業を実施した場合の負担額

改正前

【保育施設】施設区分		3号認定（0.12歳児）	
		保育料	保育料軽減額
第3-2階層	48,600円未満	第2子目 0円	0円
第3-3階層	48,600円未満	第1子目 7,700円	7,800円
		第2子目 15,400円	15,600円
第4-1階層	48,600円以上77,101円未満	第2子目 0円	0円
		第1子目 9,750円	9,900円
第4-2階層	48,600円以上77,101円未満	第2子目 19,800円	19,800円
		第1子目 9,750円	9,900円
第4-3階層	77,101円以上97,000円未満	第2子目 23,600円	24,000円
		第1子目 11,800円	12,000円
第5-1階層	97,000円以上133,000円未満	第2子目 29,300円	29,800円
		第1子目 14,650円	14,900円
第5-2階層	133,000円以上169,000円未満	第2子目 35,100円	35,600円
		第1子目 17,550円	17,800円

改正後

【保育施設】施設区分		3号認定（0.12歳児）	
		保育料	保育料軽減額
第3-2階層	48,600円未満	0円	0円
第3-3階層	48,600円未満	0円	0円
		15,400円	15,600円
第4-1階層	48,600円以上77,101円未満	0円	0円
		0円	0円
第4-2階層	48,600円以上77,101円未満	0円	0円
		19,800円	19,800円
第4-3階層	77,101円以上97,000円未満	0円	0円
		23,600円	24,000円
第5-1階層	97,000円以上133,000円未満	0円	0円
		29,300円	29,800円
第5-2階層	133,000円以上169,000円未満	0円	0円
		35,100円	35,600円

◆要保護世帯等は、子どもの年齢にかかわらず2人目以降は0円です。

◆3-3階層及び4-2階層から5-2階層までの世帯は、子どもの年齢にかかわらず2人目以降は0円です。

保育料軽減に関する資料

米沢議員 6月の議会
では、北海道が実施する3歳未満児を対象に、第2子以降の保育料を無償化にする事業を活用し、保育料の負担軽減を実施するように求めています。どのように検討されているのか伺いたい。

町も、本制度については、少子化対策、子育て世帯への経済的負担軽減に寄与する施策と理解しているため、認定子ども園や認可保育所の受け入れ体制について検討を進めてきた。

各事業者と意見交換を行った結果、平成30年度より北海道の多子世帯の保育料軽減支援事業に準じて、保育料の負担軽減を実施する方向で検討している。

施設

社会教育総合センタートイレ改修を

トイレの洋式化に向け早期に対応したい（教育長）

米沢議員

社会教育総合センターの利用者から、和式トイレを洋式トイレに改修を望む声が出ているが、どのように検討されているのか伺いたい。

服部教育長

社会教育総合センターのトイレの現状については、昭和62年の開設時から、ラウンジ側トイレ及びアリーナ側トイレの男女それぞれ1か所と多目的トイレに洋式トイレが整備されている。また、2階のトイレについては、未整備であることから、平成27年度に男女各1か所、洋式化の改修を実施した。

各種大会、団体利用など、利用者が多い時には、洋式トイレが混雑する

ことから、トイレの洋式化の必要性は強く認識しており、できるだけ早

期に対応するよう考えている。



早期の改修が望まれる社教センターのトイレ

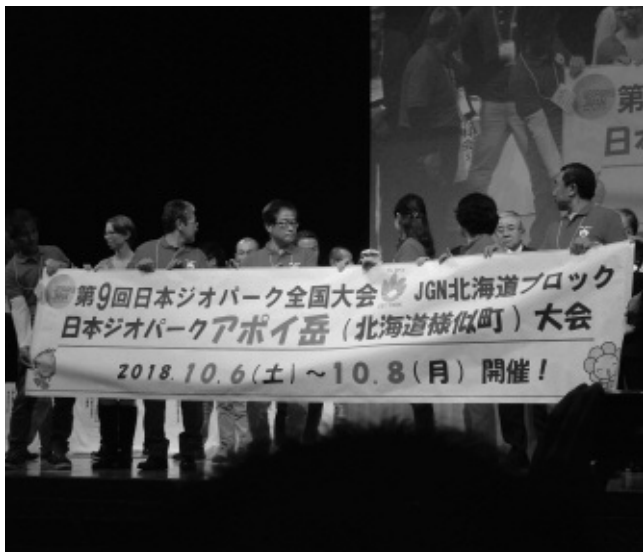


ジ
オ

— 荒生 博一 議員 —

今後の取り組みに対する町長の考えは 引き続き認定を目指し活動を継続していく

(町長)



日本ジオパーク全国大会の様子

荒生議員

今回の審査

結果後、広報10月号の掲載とホームページでの公表がなされただけで、これからの思いなどは一切発信されていない。

多額の予算を必要とするからには、より多くの町民の方々の理解や協力を得なければならぬと思うが、今後の取り組みに対する町長のお考えは。

向山町長 審査結果を受けた後、美瑛町長と私

とで、引き続き認定を目指し、活動を継続していくことを確認した。

今後、近々予定をしている十勝岳ジオパーク推進協議会臨時総会において、今後の活動についての具体的な協議が行われるので、その結果を踏まえ、今後の進め方等の内容や町としての取り組み等について、速やかに町民の方々へ説明をさせていただきたいと考えている。

観 光

交流人口増に向けた観光振興策の 取り組みは

地域再生事業を活用し 活性化を図っていききたい(町長)

荒生議員

観光振興計

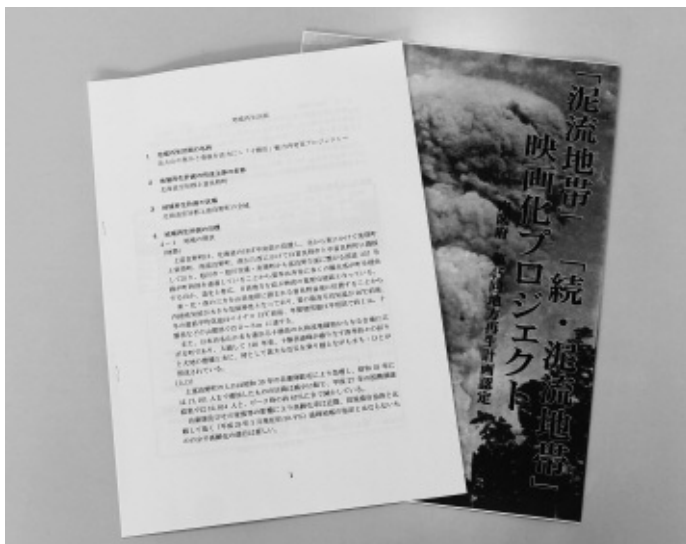
画における観光客入り込み数の目標に対し、交流人口である宿泊、日帰り客の実際の数値は目標を大幅に下回っている。目標達成に向けた具体的な取り組みは。

向山町長

大型観光施設

設の撤退等もあり、観光入り込み数が伸びない要因について、これらの影響も含め、一定の分析をしているところだが、富良野圏域全体を見ても入り込み数がやや頭打ちの状態にあり、本町はもとより、圏域全体としても新たな魅力づくりが求められていると判断している。

私としては、このような状況や、地域内で豊富な良野が埋没しているの



地域再生計画資料

では、との閉塞感を解消し、新鮮な町の魅力づくりや誘客につながるような具体的な取り組みが重要と捉え、このたびの地域再生事業を2本柱(1本目は、十勝岳を利用した観光振興に

結びつく、あるいは産業振興に結びつく事業展開、2本目は、映画づくりを通じた地域振興)で行い、活用する中で、活性化を図っていききたいと考えている。

農業者の人手不足対策

質問

農業振興計画を着実に推進していく上で多岐にわたる課題があるが、その中で、経営面積の増による人手不足に対して、どのような対策を考えているのか。



答弁

後継者対策として研修機会の拡大、支援対策の拡充、新規就農支援に取り組んでいる。担い手への支援策として、作業の効率化と省力化を図るため、TMRやコントラクターの導入を検討している。これらの事業で人手不足を解消していく。



その後

現在、町・ＪＡ・農業者と人手不足解決に向けてTMRやコントラクターの導入の可能性について打ち合わせを行っている。導入にあたっては、利用者の見込みや運営負担等について解決しなければならない課題等の整理が必要であり、今後も継続して協議を進めていく。

『TMRとコントラクター』ってな～に？

- ・ TMR：Total Mixed Ration の頭文字で「混合飼料」、「完全飼料」と呼ばれ、栄養を考えながら牛に粗飼料と濃厚飼料を混ぜ合わせ、“えさ”として与える方法で、それを提供するが“TMRセンター”です。
- ・ コントラクター：農作業委託のこと。ほ場作業を外部に委託して、労働負担の軽減や無駄な機械をもたないようにすることができます。

過去の定例会で議員が行った一般質問等での提言は、その後の町政にどのように反映されたのでしょうか。その後の経過を追跡しました。

あの質問

「どうなったの？」

保健福祉課の総合窓口の設置と表示の改善

質問

保健福祉分野を一か所で相談、支援できる総合窓口の設置を。また、保健福祉課の表示看板を分かりやすく理解しやすいように改善をすすめてほしい。



答弁

総合窓口の設置は、現在でも十分に保健福祉課全体が総合窓口機能を果たしていると感じている。表示のあり方は、工夫や改善の余地があると思うので、改善内容について検討する。



その後

一般質問を受けたあと、直ちに平成29年1月から保健福祉総合センター内の表示について分かりやすく、見やすいよう（参考：写真）に改めた。窓口の対応も、来訪者に対し職員の方から声をかけるなど、より親切丁寧に対応するよう心がけている。



わかりやすく改善された「かみん」の窓口表示

議会の窓



10月24日
上川管内町村議会議員研修会
総務産建常任委員会
第5回臨時会

11月22日
富良野沿線市町村議会議員研修会
総務産建常任委員会

12月1日
議会広報特別委員会
全員協議会
厚生文教常任委員会
総務産建常任委員会
議会運営委員会
全員協議会

12月13日
議会広報特別委員会
第4回定例会（1日目）
第4回定例会（2日目）

12月19日
議会広報特別委員会
議会運営委員会
議会広報特別委員会
総務産建常任委員会
議会運営委員会

12月25日
厚生文教常任委員会
議会運営委員会
議会広報特別委員会

12月26日
議会広報特別委員会

◆上川管内町村議会議員 研修会に参加しました。

10月24日に鷹栖町で上川管内町村議会議員研修会が開催され、議員12名が参加しました。

政治評論家の有馬晴海氏による「どうなる？今後の日本政治」、北海道教育庁上川教育局長の中島康則氏による「教育の今日的課題について」の講演を聴講しました。



挨拶をする西村議長

◆富良野沿線市町村議会議員 研修会に参加しました。

10月30日に富良野市で富良野沿線市町村議会議員研修会が開催され、議員13名が参加しました。

北海道大学大学院工学研究院准教授の岸邦宏氏による「鉄道のあり方を地域で論議するための論点」の講演を聴講しました。



研修会の様子

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開会しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる方法です。議会では住民生活にも関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政（町長や教育長）へ質問をする「一般質問」も行われます。

次の定例会開会予定は…

3月6日（火）	報告案件、補正予算など
7日（水）	新年度予算など
13日（火）	一般質問
14日（水）	一般質問
22日（木）	条例改正などです！

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。
たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

お問い合わせ
上富良野町議会事務局 電話 456992

み~つけた!!

☆ぴか☆つと輝くまちのひと



西尾さん夫婦と子ども達

新規就農に向けて東中地区で研修中の西尾淳さん、菜緒さんを訪ねました。

農家を目指し、上富良野へ来たきつかけ

西尾さん夫妻が農業に興味を持ったのは、結婚・出産の過程で食への関心が高まり、どのような子育てをするか考えた時、有機栽培の店で今の研修先の農家である武藤さんを知り、東中の武藤農場を訪ねました。

農家の見える、眺めの良いところにしてようと話していたそうです。

武藤さんから隣の農家が引っ越しすると知らされ、すぐに二人の意見はまとまり、5年間で育て育んできた子どもの成長と就農研修が、新天地・上富良野東中の武藤農場で始まりました。

しかし、2年間で台風と大風に見舞われ、自然の厳しさと農業の持つ弱さを痛感していると話していました。

その中で、地域活動への積極的な参加には、頭が下がります。娘さんの小学校入学を目標にし、十勝岳山系

子育てと将来について

上富良野に住んで、子育て環境には満足しているといいます。待機児童なし、預かりサービ

あつたらいいと思います。同じ子育て世代の母親たちも、機会があれば意見交換したいことが沢山あると言ってます。女性の目線で町づくりを考えることも必要だと思ふんです、と菜緒さんは話していました。

学校も少人数で、先生との密度の濃いふれあい、学年を超えた子ども同士での互いの学習や成長、発言への積極性、生きる力を育ててもらっているといいます。

淳さんは、若手の議員が増えて欲しいですが、我々の世代も傍聴に行くなど、議会にも関わらるべきと思います。私も女性の視点がこれから大事だと思います、と話していました。



夫婦での農作業

(インタビュー…高松)

ひとりごと...

■早いもので、平成30年が過ぎてから1か月が過ぎました。この冬は、全国的に冬將軍が猛威を振るい、各地でも例年になく大雪です。雪の降らない地方でも積雪を記録しました。毎日の雪はねに、そろそろ嫌気がさしてきますね。

■最近、AI（人工知能）の家電や自動車などが目に付くようになりました。科学の進歩によって私たちの生活が、次々と便利になっていきます。一昔前にSF映画で見たような世界が現実になってきました。

どうか、その技術が私たちの暮らしにとって、平和や安全のために使われることを望みます。■いよいよ受験シーズンです。受験生の皆さん、今まで積み重ねてきて、努力した結果を惜しみなく発揮してください。試験会場でも、いつも勉強していた机を思い出し、自信を持ち、落着いて、平常心で試験に挑んでください。さあ、輝かしい春はすぐそこです。

(金子 記)

議会広報特別委員会

委員長	高松 克年
副委員長	金子 益三
委員	中澤 良隆
	竹山 正一
	米沢 義英
	中瀬 実